

福岡ゆたか中央病院 地域協議会におけるご意見を踏まえた対応状況

協議会開催日	構成員のご意見	対応状況
H26.11.18	ケアマネージャーとの連携を密にとってもらい、スムーズな在宅復帰についてお願いしたい。(当時の回答) ケアマネージャーについては患者様のキーパーソンであり、連携の会等を通じて繋がりを強化していく。	・H28年7月26日 ケアマネージャーとの連携の会開催 26事業所 49人参加し、2事業所(訪問看護)による事例発表とグループワークを実施 ・H28年度の地域協議会より、地域のケアマネージャーの会(くらしの会)の会長もメンバーとして参加。
H26.11.18	療養型病棟や地域包括ケア病棟の置についてはどのように考えているのか。(当時の回答) 将来的に地域のニーズに合わせて病棟毎に機能を見直すしていく。	・H28年9月より5階病棟(28床)を地域包括ケア病棟とした。
H27.12.15	教育活動の一環として、各種イベントを行っているが、対象は患者だけでなく、地域の住民の方も対象にしてほしい。(当時の回答) 患者だけでなく地域の方々にも参加してもらっている。	・健康フェア(H28.6.25開催)、院内健康展(H28.11.16)、管理栄養士によるヘルシークッキング(3回/年)、いきいき健康教室(3回/月)を実施。
R2.2.13	昨年の7月8月の1日平均入院患者が減っている。原因を教えてください。	紹介によらない患者が減少傾向にある。当院は、地域包括ケア病棟でレスパイトケア入院等の受け入れを行いながら患者数の維持に努めている。 地域医療連携室が居宅支援介護事業所等へレスパイトケア入院の紹介や受け入れ実績についての広報を行うこととした。
R2.2.13	患者数が減少している要因に直鞍地区の人口減少が影響しているのではないかと。また、病院受診をしたくてもフレイルにより受診できない高齢者がいるかもしれない。	当院の出前講座を利用していただき、元気な高齢者を増やして行きたい。地域医療連携室が施設等へ広報活動を行うこととした。
R2.10.30	地域住民向けの健康教室が再開されているようなので、大変厳しい状況ではあると思うが、今後も積極的に取り組んで頂きたい。	いきいき健康教室を7月、10月、11月に計7回開催した。今後も感染状況をみながら開催を検討していく。
R2.10.30	新型コロナウイルス感染症の流行期ではあるが、地域の中核病院として診療所を支えて頂き、地域の方々の健康と生活を守るため連携、協働をお願いしたい。	引き続き地域の中核病院として、関係医療機関と連携しながら診療を行うと共に、新型コロナウイルス感染症に対して当院が与えられた役割を果たしていく。
R2.10.30	直方市では「健康寿命の延伸」をテーマにあげており、今後地域に出て保健指導や健康指導に取り組む方針である。その際、当院の健康管理センター、作業療法士、理学療法士の方々からの技術指導等の支援を頂きたい。	要請があれば、積極的に職員派遣を行う方針。